

『令和元年度女性防災指導員等交流セミナー』でファシリテーションを行いました (2019/7/1)

テーマ：女性防災リーダー、男女共同参画、宮城県防災指導員
場所：宮城県本町分庁舎（漁信基ビル）702 会議室

2019年7月1日、宮城県総務部危機対策課の主催により、宮城県本町分庁舎（漁信基ビル）702 会議室にて「令和元年度女性防災指導員等交流セミナー」が開催されました。交流セミナーには、女性の宮城県防災指導員や婦人防火クラブ員、女性の仙台市地域防災リーダー等48名が参加し、乳幼児を持つ子育て世代の参加者を含み幅広い世代の女性が集まりました。セミナー全体のファシリテーター役を、情報管理・社会連携部門の佐藤 健教授が担いました。

本セミナーは、平成30年度から開催されたものであり、女性の視点を地域防災力の高度化に活かすことを目的とし、今年度が2年目の開催となります。今年度は事例発表として、宮城県防災指導員の佐藤美嶺さんから「女性目線を活かすネットワーク作りで広がる地域防災」、利府町青山町内会会長の吉田千枝子さんから「青山の実践から」が行われ、発表に対する質疑応答や意見交換が行われました。その後、グループワークを通して、家庭や地域において、女性視点や自分の立場を活かしてできる防災活動について議論を深めました。

佐藤 健教授はセミナー全体のまとめとして、以下のようにコメントしました。参加者に対しては、今回のセミナーで得た女性防災リーダー相互のネットワークを今後の活動に活かして欲しいこと、宮城県に対しては、本セミナーのような情報交流の機会を継続開催してほしいこと、そして、女性や若い地域人材が各地域で活躍しやすい環境づくりのための一つの方策として、女性や若手を上手に活かしている区長や会長の講話を、そのようなことができていない区長、会長に聞いて頂く機会を設けることについて宮城県に要望しました。



会場の様子

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）